

# 全生連全国交流会に参加 (小倉生健会 酒井副会長) 生活保護・国保の改善もとめ交流

9月19・20日東京に、全国の「生活と健康を守る会」から218人が集まり、国民健康保険と生活保護問題の交流会が行われ、参加した酒井順子副会長に話を聞きました。

高すぎる国保料の滞納者に対して、生活費が差押えされるなど、全国で徴収強化が実施されています。これらに対し生健会は様々な団体と一緒に運動して、国保料の引き下げ、値上げストップなど成果をあげた経験等が交流されました。

大阪の生健会が、生活保護費が5千円上がったかどうかというアンケートをとったところ、おかずを一品ふやしたいや、外食をしたい等、食事に関するものが多かったそうです。次に、旅行したい。電化製品の買い替えの為に貯金したいでした。生活保護費が引き下げられ、食費に一番しわ寄せが出ていることを実感しました。

埼玉県深谷市の老夫婦と娘さんの親子心中事件では、助かって罪に問われた娘さ

んが弁護士に「生活保護だけは受けたくなかった」と言ったそうです。

生活保護でなく死を選んだ親子3人。そう思わせるような風潮が漂っている日本に、悔しく悲しい気持ちになりました。

生活保護を受ける事は悪い事でしょうか？ 恥ずかしい事でしょうか？ ヨーロッパでは、高齢者の生活は保障され、生活保護は世間一般にも当然の権利として認められていると聞きます。必要な方が、胸を張って生活保護を受けることができるようになるよう頑張ります。



## 働いても、収入が少なく生活できない なんとかなりませんか？

実際の収入と、この「基準額」を比べて、足りない分が、毎月の初めに給付されます。

北九州市では、単身・30歳代の場合、基準額は、月額75,840円と家賃(上限29,000円で実費)の合計額で、冬季(11~3月)は2,580円の加算などがあります。働いている場合は、基礎控除(7万円の給与の場合は20,400円)と通勤費などの就労に必要な経費を控除した額が、収入として認定されます。

※なお、詳しいことは本紙連絡先にお尋ね下さい。

◆(問い) 35歳、独身・一人暮らしです。パートで働いていますが給与が月に7万くらい、食べていきません。なんとかなりませんか？

●(答え) 若い人であっても、収入が少なく、貯金や資産がない場合は、生活保護を受けることができます。

生活保護では、住んでいる地域・年齢・同居家族数等によって「保護基準額」が定められていて、

《声》 年金者組合の方から「前回の『通院交通費』の記事が良かった。みんなに知らせます」と言っていただきました。同じ記事で、南区の80歳代の方からは「生活保護者が優遇されている」とも言われました。その方もわずかな年金で、病院に行くことさえためらっている方でした。「弱いもの、貧しいものが、いがみ合わず、力を合わせて世直しを」と、お話し「そうですね」と言っていただきました。

## 「おむすび食いたい」 餓死事件から 10周年集会

10年前、小倉北区神岳に住む男性が「生活保護の辞退届を書かされた。おむすび食いたい」などのメモを残し餓死しました。

二度とこのような事件は起こさせない。必要の人がきちんと生活保護を受けることができるようにと、全国の学者や弁護士、司法書士や団体などと、地元の当事者や生健会などが一緒になり、改善を求めてきました。



現状でも生活保護の申請率が4割弱に抑えられていることなどを紹介し、一層の改善が必要だと訴えました。

集会には沢山の方が参加し椅子を追加しても間に合わず、立ち見などの人で溢れました。

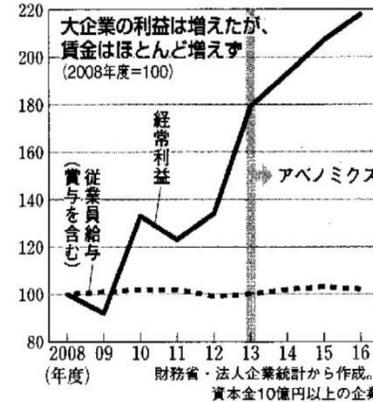
作家で「反貧困ネットワーク」世話人の雨宮処凛さんと「生活保護問題対策全国会議」代表幹事の尾藤広喜弁護士がトークを行い、「水際作戦は、厚生省(当時)がつくった言葉」「必要な人にきちんと生活保護を」などが語られました。

集会では、北九州社会保障推進協議会の高木健康弁護士が10年間の取組や、

えっ！ 右の図を見てぶったまげました。

安倍首相がアベノミクスは成功したと言っていますが、大企業や資産家には、なるほど大成功。ところが、庶民の給与は全く上がってない。

これだけでも不公平なのに、そのうえ、大企業・富裕層には減税。庶民には、増税と社会保障の切り捨て。有権者の数では圧倒的に多い庶民のみなさん。この不公平を選挙で変えようではありませんか。



小倉生健会  
**生活と健康を守る**  
一人はみんなのために、みんなは一人のために

- <主な日程>  
10/07(土) 13時 合同班会議 たかせ事務所隣  
10/13(金) 15時 市生活保護課懇談会 複合施設(大手町)  
11/27(月) 14時 生存権裁判 第10回口頭弁論 福岡  
11/28(火) 13時半 年金裁判 第9回口頭弁論 福岡